



この事業は赤い羽根共同募金会の助成を受け実施しています

第9回 地域福祉フォーラム in TOYAMA

～一人ひとりの生活を支える多様な取り組みと役割～

今回のテーマは『一人ひとりの生活を支える多様な取り組みと役割』です。一人ひとりの想い・ニーズをくみ上げ、一人ひとりが安心できる暮らしへのアプローチの積み重ねが地域づくりになります。今回も各分野における先駆的な取り組みを学び、富山での地域課題解決のヒントにしたいと思います。ニーズが複雑化・多様化する中、包括的に課題に対応できる「我が事・丸ごと」の体制づくりを進めるために、皆さんのご参加を是非お待ちしております。

日時：平成31年3月2日(土)

受付 9:00

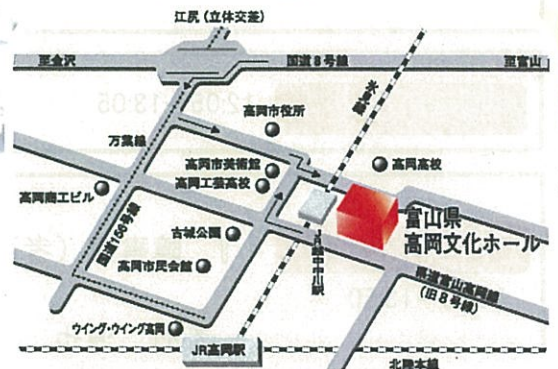
開演 9:30

終了 16:50

場所：富山県高岡文化ホール 小ホール
(高岡市中川園町13-1)

参加費：4,000円 ※学生は無料です

主催：とやま地域福祉ネットワーク (Cisとやま)



参加申し込みは、ブログ (<http://blog.canpan.info/genkitfn/>) から申し込みフォームに入ってください、必要事項をご記入いただくか、下記に氏名等をご記入いただき、FAXにてお送りください。facebookのページもありますので、ご覧下さい。

※FAX先：0766-54-5704 (社会福祉法人くるみ 担当坂下) 申込みは平成31年2月25日(月)までとさせていただきます。

お名前	ご連絡先(電話番号等)	所属先	備考

《お問い合わせ》 とやま地域福祉ネットワーク事務局

●TEL 0766-54-5703 (社会福祉法人くるみ 担当：坂下) ●FAX 0766-54-5704

●メールアドレス：genkidasouzetfn@gmail.com ●ブログ：<http://blog.canpan.info/genkitfn/>

●facebook：www.facebook.com/ToyamaDeYuFuZhinettowakuCistoyama

第9回 地域福祉フォーラム inTOYAMA プログラム

～一人ひとりの生活を支える多様な取り組みと役割～

日時：平成31年3月2日（土）9:30～16:50

場所：高岡文化ホール 多目的小ホール

※登壇者は予定であり変更になる場合があります

9:30～

あいさつ

シンポジウム①

先進事例から学ぶ

9:35～10:45

『 不登校など、支援の必要な子どもの未来を支える取り組み 』
～学齢期・青年期に必要なこと、できること～

河内 崇典 氏（特定非営利活動法人み・らいず 代表理事）

鈴木 直也 氏（特定非営利活動法人起業支援ネット 副代表理事）

シンポジウム②

10:55～12:05

『 改めてグループホームの質について考える 』
～安心して暮らせるすまいをつくるためのソフトとハード～

荒井 隆一 氏（日本グループホーム学会 副代表）

今井 正人 氏（積水ハウス 京滋奈シャームゾン支店 医療・介護推進担当）
コーディネーター

山口 久美 氏（SNOWDREAM 代表）

昼食、休憩

12:05～13:05

講演

13:10～13:50

『 障害児（者）を支えるしくみづくりへの「思いと胆」 』
～親、県職員時代、市長として～

都竹 淳也 氏（飛騨市長）

シンポジウム③

14:00～15:20

『 医療的ケアの必要な子が地域で安心して暮らせるために 』
～医師の役割と思い～

田中 総一郎 氏（医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所ほっこり仙台院長）

牧本 優美 氏（富山大学附属病院 周産母子センター 講師）

三浦 太郎 氏（富山市まちなか診療所 管理者）

コーディネーター

戸枝 陽基 氏（社会福祉法人むそう 理事長）

シンポジウム④

15:30～16:50

『 地域共生社会の実現にむけて 』
～「我が事・丸ごと」の包括的支援体制を作るには～

都竹 淳也 氏（飛騨市長）

大村 政人 氏（富山県厚生部障害福祉課長）

吉澤 実 氏（高岡市福祉保健部長）

コーディネーター

鷹西 恒 氏（富山祉福短期大学 教授）